

国立劇場で、
日本の伝統音楽を
親子で
お楽しみください

親子で楽しむ 邦楽演奏会 鬼のお話を邦楽で

鬼のお話 **1**
心やさしい
鬼たちの物語
新内節
「泣いた
赤鬼」

鬼のお話 **2**
わたなへのつな
渡辺綱を慕う
美しい女の
正体は…?
常磐津節
「戻橋」

和楽器の解説 **3**
お雛さまの
五人ばやしの
楽器だよ
「鳴り物」

鬼のお話 **4**
切り落とした
鬼の腕を
ねらう者は…?
長唄
「綱館」

令和4年3月27日(日)
国立劇場小劇場
開場10時30分 / 開演11時(終演12時20分予定)
14時からは大人向けの第二部、第三部が始まります。

入場料●子ども、付添保護者とも**1,000円**(税込)◎全席自由

前売り券●2022年1月26日(水)より販売開始

申込先●邦楽実演家団体連絡会議(長唄協会内)

電話:03-6279-4749(平日10時~17時)

メール:hougaku@nagauta.or.jp

メールには「第一部希望」と記入し、チケット枚数、住所(含む郵便番号)、氏名、電話番号を記載してお申し込みください。後日チケットを郵送いたします。

インターネット販売●イープラス <http://eplus.jp/>

窓口販売●国立劇場チケットセンター(窓口販売のみ)

当日券は当日10時030分より会場窓口にて発売いたします。

※出演各団体並びに出演者からお求めいただけます。

※当日券もございましてできるだけ事前にお求めください。

【主催】邦楽実演家団体連絡会議

構成団体 (一社)義太夫協会/清元協会/(一財)古曲会/新内協会/特定非営利活動法人 筑前琵琶連合会/常磐津協会
(一社)長唄協会/(公社)日本小唄連盟/(公社)日本三曲協会/日本琵琶楽協会 ほか

【助成】東京都・(公財)東京都歴史文化財団(都民芸術フェスティバル主催)

【後援】◎公益財団法人日本伝統文化振興財団

親子で楽しむ 邦楽演奏会

10時30分開場 / 11時開演 [終演12時20分予定]

令和4年3月27日(日) 国立劇場小劇場

今回は鬼のお話を集めました

◆「鬼」というと皆さんはどのようなイメージを描かれるでしょうか。やはり「鬼滅の刃」に出てくる怖い怖い鬼たちでしょうか。

今回の演奏会ではとてもやさしい鬼のお話「泣いた赤鬼」と、昔は昔、平安時代「の悪い鬼のお話「戻橋」と「綱館」です。

◆「泣いた赤鬼」は皆さんもご存知でしょう。赤鬼と青鬼の関係、鬼と人間の関係など色々と考えさせられるお話です。新内節という江戸時代に始まった伝統芸能に、落語やお箏・尺八が加わったとても珍しい実演です。

◆常磐津節の「戻橋」、長唄の「綱館」では、同じ主人公と鬼が出てきます。昔のわが国では悪事をはたらく人間を鬼として扱い、それを分かりやすく物語にしたのかも知れません。主人公は渡辺綱という源頼光の四天王と呼ばれる武将の一人。京の都で子供の誘拐など乱暴狼藉をする酒呑童子一味がおり、その中の茨木童子という鬼が相手です。アイススケートの羽生結弦選手の演技で話題になった安倍晴明も出てきます。常磐津も長唄も江戸時代に始まった伝統芸能で、今では大人でも分かりにくい言葉が出てきますが、舞台上映るスライドを見ながら雰囲気味わってください。

和楽器解説は「鳴り物」です

◆「親子で楽しむ邦楽演奏会」では和楽器をとりあげて毎回解説を行っています。今回は「鳴り物」です。「鳴り物入り」という言葉があるように、主に歌舞伎の舞台などを大いに盛り上げる大太鼓、笛、鼓、太鼓など、囃子方が演奏する楽器を総称して鳴り物と呼んでいます。その中から、笛、小鼓、大鼓、太鼓などについて分かりやすく説明します。

◆新内節「泣いた赤鬼」

- 浄瑠璃 岡本宮之助
- 岡本宮弥
- 三味線 鶴賀喜代寿郎
- 上調子 岡本文之助
- 箏 徳丸友子
- 十七弦 細川英子
- 尺八 徳丸十盟
- 嘶・青鬼 林家正雀

◆常磐津節「戻橋」

- 浄瑠璃 常磐津 若羽太夫
- 常磐津 松希太夫
- 岸澤 式松
- 岸澤 満佐志
- 三味線

◆楽器解説「鳴り物」

住田福十郎ほか

◆長唄「綱館」

唄 芳村辰三郎

- 杵屋 正則
- 芳村 長五郎
- 杵屋 浅吉
- 杵屋 栄次郎
- 松永 忠三郎
- 住田 福十郎
- 立鼓 藤舎雪丸
- 小鼓 藤舎呂近
- 大鼓 山口晃太郎
- 太鼓 福原百貴
- 笛

午後2時から小劇場では大人向けの第二部、第三部が始まります。

国立劇場小劇場

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1

地下鉄●半蔵門線〈半蔵門駅〉6番出口(エスカレーター・エレベーターあり) 1番出口徒歩5分

●有楽町線・半蔵門線・南北線〈永田町駅〉4番出口徒歩8分 2番出口徒歩10分

都バス●都03〈晴海埠頭～四ツ谷駅前〉三宅坂徒歩1分

●宿75〈新宿駅西口～河田町～四谷駅前～三宅坂〉三宅坂徒歩1分 駐車場完備

